

恒例の餅つき昼食交流会が行われました！



昨年12月13日(木)に開催したひとり暮らし昼食交流会では、恒例の餅つきが行われました。40名の方が参加され、「ヨイショー！」のかけ声で餅つきをする姿は大盛況でした。

メニューは『お雑煮』『お汁粉』で、民生児童委員の皆さんの協力のもと作った味は格別でした♪



たいき
社協
だより
Taiki shakyo

明けましておめでとうございます。

本年も社会福祉協議会役職員一同、よろしくお願い申し上げます。

 **H31. 1 No.119**

【発 行】社会福祉法人 大樹町社会福祉協議会
【事務局】大樹町栄通29番地6 大樹町福祉センター内
【TEL】01558-6-4130
【FAX】01558-6-4120
【MAIL】taiki-shakyo@flute.ocn.ne.jp
【HP】<http://www.shakyo.or.jp/hp/161/>

もくじ

- ◇目で見える社協 P 2
- ◇共同募金学校募金・歳末たすけあい義援金 P 3
- ◇ふまねっとサポーター in 池田 P 4
- ◇地域支えあい活動推進講演会 P 5
- ◇おしらせ P 6



この社協だよりは、赤い羽根共同募金の支援を受け発行しています。



とかちボランティア研修交流会

音更町のホテル大平原にて行われ、ボランティア6名が参加しました。午前は全体講演で改めて『求められるボランティアとは何か？』を学び、午後からは3つの分科会に分かれ実践的な経験を積んできました。

参加したボランティアからは一同に、「明日からすぐ実践していこう！」と笑顔での意気込みが聞かれていました。



身障分会晩成温泉交流会

会員31名が参加され、温泉・食事会・カラオケなどで交流を深めました。特にビンゴゲームやじゃんけん大会は大盛り上がりでした！



クリスマスケーキお届け事業

今年も子供達へケーキのプレゼントがありました。『ケーキをもらってしあわせなので、らい年もおねがいします。』という手紙を子ども達から貰えて、サンタさんは喜んでましたよ。

老連女性部リーダー研修会

音更町の笹井ホテルにて一泊二日の研修が行われ、会員11名が参加しました。初日は『腸の大切さや乳酸菌の有効性』、2日目は『自分でできるツボ講座』を学び心身共に癒やされたようでした。

今回の研修では日常でも使える知識や運動・マッサージが多く学べ、参加者からは大変好評でした。





赤い羽根共同募金運動 学校募金へのご協力ありがとうございました!!

大樹小学校

大樹小学校 JRC 委員会 (児童数 288 名・石川 華会長) は 12 月の毎朝寒い中、1 週間にわたり募金活動を行い、3,033 円の募金を集めていただきました。



大樹中学校



大樹中学校生徒会 (生徒数 124 名・鈴木 鍊会長) は、11 月 20 日～12 月 17 日の間、生徒会役員 5 名が朝の登校時間に呼びかけを行い 12,776 円の募金を集めていただきました。



大樹高校



大樹高校生徒会 (生徒数 155 名・赤城奏笑会長) は 12 月の 1 週間、朝の登校時間と昼休みに役員 4 名で募金活動を行い 30,377 円を集めていただきました。



歳末たすけあい義援金

12 月 5 日 (水)、大樹ライオンズクラブ 高橋英昭会長より、歳末たすけあい義援金をいただきました。



ふまねっとサポーター In いけだ

視察研修



11月9日(金)、15名のふまねっとサポーターは、池田町のマックスバリュー2Fで月2回行われている『ふまねっとサポーターズいけだ』の活動や取り組みについて視察研修をしました。



池田社協職員から、ふまねっとが始まった経緯やサポーターの活動を伺った後、実際にサポーターズが行っている、アイスブレイク（リラックスして楽しい雰囲気を作る）やふまねっとを体験しました。



池田町の皆さんと一緒に体験したサポーターは、「自分が参加者になってみて、メンバーさん（参加者）の気持ちとか、お手本がいかに大切かわかった。すごく勉強になった。」と教えてくれました。



きらり輝く ふくしなひと

『ことぶき お茶会』

寿町 石津 良一さん
恵子さん



メンバーの鈴木カズさん、斎藤ヤスさん、石津恵子さん、石津良一さん。（左から）

もう、30年も続いているサロンがあります。

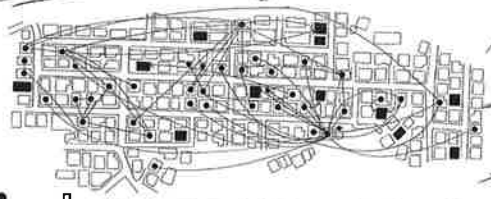
「ことぶき お茶会」。寿町に住む方を対象にしたサロンです。当初20名いたメンバーは、現在5名に減ってしまいましたが、皆さんお菓子代100円とお弁当を持参し、毎週火曜日の10時福祉センターに集合します。

町内会の行事として、晩成温泉や町内外の観光名所巡りをしていましたが、「お茶を飲みながら、ゆっくりおしゃべりするのもいいね」の一言がきっかけで、お茶会が始まりました。昔話や健康の話、時には健康番組をみんなで鑑賞し、勉強会をすることも。お世話役の石津さんご夫婦は「これからも長く続けていきたい。皆さん、ぜひ遊びに来て下さい」と言われていました。



地域支えあい活動推進講演会

『マップから見える 住民流助け合い起こし』を、開催しました。



昨年に続き、11月29日(木)に住民流福祉総合研究所所長の木原孝久氏による講演会を開催し、町内外から56名が参加しました。超高齢社会を迎え地域の助け合いの重要性が言われていますが、地域での助け合いはご近所で



行われており、マップ作りを通して見えてきます。
木原氏から『助けて!』と言われれば9割以上の方は助けようと思っているが、実際に『助けて!』といえる人は100人中3~4人程度。助けられ上手にならなければ、支え合いは進んでいかない。困ったときに『困った。助けて!』といえるように日頃から練習しましょう』とのことのお話!

SOS!



翌日30日には、2町内会がマップ作りを実践しました。北海道民生委員児童委員連盟の馬川主査にもご協力いただき、それぞれの町内会での支え合いや課題などを確認しました。

皆さんは困ったとき『助けて!』と言えますか?



地域 活動紹介

尾田 和楽太鼓

毎年2月に開催されている、尾田地区文化祭に向けて、『尾田和楽太鼓』の皆さんが、練習に励んでいます。去年7月から、新たに小学生4名とお母さん2名が加入し、計11名で活動されています。第1回カムイコタン祭りから28年続いている和楽太鼓ですが、お孫さんが加入した拓進の鈴木さんは「子供たちに教えたい!という気持ちが強くなり、以前にも増して楽しい」と笑顔。子ども達のやる気と大人達の熱意で地域の伝統が次世代へ永く受け継がれていくのでしょう。



左) 元気いっぱいの子どもたちが加入した、尾田和楽太鼓メンバーの皆さん
右) 地域づくり協議会の頓宮会長(写真右)と和楽太鼓の志民代表(写真左)

～ あなたのお気持ち、大切にに使わせて頂きます。～

(平成30年10月1日～12月31日)

◎大樹町愛情銀行・大樹町社会福祉協議会に次の方よりご寄付頂きました。

帯広市 阿部 忠幸 様

亡父 忠則殿の生前のご厚誼を謝して 30,000円

柏木町 後藤 恭子 様

亡夫 幸一殿の生前のご厚誼を謝して 50,000円

交流会

ひとり暮らし高齢者 昼食交流会の開催

開催日時：平成31年3月4日(月) 11:00からスタート

開催場所：大樹町福祉センター 1階中ホール

参加対象者：町内在住の65歳以上の一人暮らしの方

申し込み：2月22日(金)までに社会福祉協議会(6-4130)へ申し込み下さい



【昨年の研修旅行の様子】

十勝地区 身体障害者福祉協会 大樹分会

身体障害者福祉協会大樹分会では、町内にお住いの身体障がい者の方、また本会の趣旨に賛同された方の入会をお待ちしています。

会では、研修旅行、ゲーム交流会、各種研修や大会への参加などの活動を行っています。

入会を希望される方は事務局へご連絡ください。

社会福祉協議会 ☎6-4130